

特集「社会課題を解決する IHI」号の発刊にあたって

代表取締役社長

最高経営責任者 満 岡 次 郎

IHI グループは、2019 年度より新たな中期経営計画「グループ経営方針 2019」をスタートしました。

私たちを取り巻く事業環境は、IoT、ICT や AI などの技術革新、温暖化といった社会問題など、想定を超えるスピードで変化しています。このようななかで、IHI グループは「社会とお客さまの課題に真正面から取り組み、新たな価値を創造する」ことを通じて、長期視点に立った「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。

私個人のこだわりは、「真正面から取り組むべき課題」と「新たな価値創造」です。

ここで少し立ち止まり、IHI グループの姿勢を振り返りたいと思います。これまで私どもは、お客さまからの仕様のご提示を首を長くしてお待ちしていたように思います。「将来の姿」は、お客さまもまだご覧になっていないもの、また、お客さまも私どももこれまで考えていなかったものかもしれません。お客さまを取り巻く環境がスピーディーに、またさまざまに変化していますので、社内に閉じこもってはいけなかったのです。正解が見えない状況ですが、恐れる必要は何らありません。

私どもは、まず「三現主義」精神に立ち返ります。そして、コミュニケーションの取り方を変えていきます。会社から出て、お客さまやいろいろな方々とたくさん話し合いをして、社会とお客さまの周りで何が起きているのか、そして、これから何が起ころうか想像力を働かせ、さらには「いろいろ変えると、どうなる?」といったアイデアを出し、さらにそれらが膨らんでくる・・・そんなプラスの連鎖を引き起こしたいと思います。

この膨らんだアイデアを実現させるのは技術です。経営理念「技術をもって社会の発展に貢献する」の示すとおり、技術が IHI グループのコアです。その大事な技術の源ですから、取り組むべき技術の見極めにはリーン&フレキシブルな体質への変革が必要と考えています。またオープンイノベーションへの取り組みも進めておりますが、体も頭もまだまだヨチヨチ歩きが現状です。

2019 年 5 月、横浜事業所内に「IHI グループ横浜ラボ」をオープンしました。これまでの「つなぐラボ」の機能に加え、多様な技術的対応力をもたせ、またスピード面も向上させ、お客さま・パートナーの皆さんとの価値共創を進化させます。すなわち、半日のご滞在のなかで、必要なメンバーが柔軟に討議に加わり、必要な関連データが検索でき、モックアップ試作・モデルシミュレーションなどのトライ&エラーをその場で進めながらといった「新しい価値を創造する、早回しの議論と早回しの仮説検証」を実現していきます。

いままで以上に、いま一度、IHI グループの姿にご期待ください。

「将来の変化をダイナミックに創る! Realize your dreams!」

